

学校名	福島市立福島第一中学校	校長	菅野善昌
住所	福島県福島市南町 480		
TEL	024-546-3504	HP	

生徒スローガン

知恵を出そう！声を出そう！汗をかこう！

本校では平成21年度より、この「生徒スローガン」を掲げ、学習活動・生徒会活動・部活動等に取り組んでいます。そのいくつかを紹介したいと思います。

学校生活紹介

～毎日がノーチャイムデー～ 本校では、朝の学活前と、昼休みの予鈴以外、チャイムは鳴りません。生徒達は、自ら時計を見て、一分前に席につき、静かに授業が開始されます。授業にも自然に身が入ります。

～無言整列・無言清掃～ 廊下への整列までが3分。整列後、無駄話をする生徒は誰もいません。汗をかくのを目標にしています。清掃分担の交代は3ヶ月に1回。交代時の引き継ぎもカードを使い、スムーズに行われます。



生徒会活動紹介

～生徒会いじめ撲滅運動～ 「いじめの種をもらわない・植えない・育てない」のラミネートポスターが校舎のあちこちに貼られています。この標語は、生徒達の中から出た声です。生徒会中心に、

自らの手で撲滅運動を推進しています。「目の前の問題に目をそむけず、声を出そう！」が生徒会の合い言葉です。



部活動紹介

～どの部活動も活躍～ 「知恵・声・汗」の一番の出どころです。全国大会に出場した3つの部活動を紹介します。

＜陸上部＞ 比較的新しい部活動で創部10年の陸上競技部を紹介します。「楽しくそして真剣に」をモットーに、一つでも上の上位大会に出場できるよう部員全員が意欲的に活動しています。今では、県内有数の強豪校となり、東北大会・全国大会の常連校となりました。昨年は、全日本中学校陸上競技選手権男子走り幅跳びにおいて、念願の全中優勝チャンピオンが誕生し、地域全体が盛り上がりました。部員も「やればできる」という思いが強くなったようです。



練習は、校庭が主な活動場所ですが、休日は近場の陸上競技場に行って活動しています。学校周辺の山なども活動場所にしてはいますが、放射線の影響もあり例年のように活用できないでいます。早く練習ができる環境になってほしいと思います。



＜合唱部＞ ここ数年、全国コンクールの常連校として活躍しています。今年は震災の影響で、「普通に生活できる」「みんなと歌える」ことが、本当に幸せだと感じました。辛く切ない気持ちになることもありましたが、励まし合いながらやってきました。一つひとつの音を大切に、一人ひとりの想いを大切に、練習する過程で、仲間との絆は一層強いものとなりました。今年はいじめ撲滅運動で「文部科学大臣奨励賞」（全国1位）、NHK全国学校音楽コンクール全国コンクールで「銅賞」（全国3位）を受賞し、本当にうれしく思っています。これからも、校長先生の「誇りと夢は自らつかめ！」の言葉を胸に、先輩が築かれた『一音入魂』の精神を大切に、「いま」「ここで」「この仲間たちと」歌えることに感謝して活動していきたいと思っています。

＜科学部＞ 「雑草を使って土壌を分析できるか」をテーマに、早春の植物と土壌との関係を調査しました。昨年度の結果をもとに、なぜ肥沃な土壌をヒメオドリコソウが占領できるのをテーマにしました。草高が最高でもわずか40cmで、日本に100年ほど前に帰化した植物が、なぜ、全国に生息地を広げることができたのかに挑戦したのが本研究でした。

福島県は、3月11日の震災と原発事故と続き、さらに、ホットスポットとの関係から野外調査を断念しなければならない時期もありました。不安定な状況の中、自分たちができることは何かを問い続けながら、調査研究をやり遂げることができました。自然科学観察コンクールで全国1等賞に選出されたのは、ヒメオドリコソウをテーマに、自然に隠された神秘と美しさ、生物どうしのつながりの深さに感動しながら、そのすばらしさを感じることができた、地道な努力の成果だと思います。

